

## いろいろな容器のかさを予想しよう

単 元	か さ	対象学年	2 年
ね ら い	いろいろな入れ物に1Lの水を入れる活動を通して、1Lの量感を豊かにする。		

### 1 準備するもの

教師： 1Lます、1dLます、牛乳パック、ボウル、お茶入れ、四角い水槽、丸い水槽、一升瓶、ポットなど



### 2 学習のしかた

(1) いろいろなものに1Lだと思っただけの水を入れ、かさあてゲームを行う。

- ① 「1Lを当てる名人になろう」と目標を設定し、学習意欲を喚起する。
- ② 各グループに、牛乳パック、ボウル、お茶入れ、四角の水槽の容器（1L以上はあるもの）を配付する。
- ③ 1人に1つ容器を配付し、それぞれの容器に1Lを予想して水を入れる。
- ④ グループで4つの容器に入っている水が、ちょうど1Lかどうか検討し、容器の外側の水位にビニールテープを貼る。
- ⑤ 4つの容器に入れた水を1Lますに移し、ちょうど1Lかどうかを確かめる。
- ⑥ 気付いたことを発表する。

(2) 丸水槽、一升瓶、ポットなどに1Lの水を入れる活動を通して、1Lの量感を豊かにする。

- ① 「1Lの水を入れると、深さはどれだけになるか」を予想し、テープ等で印をつける。
- ② 実際に1Lの水をいれて、予想が正しかったか確認する。
- ③ 気付いたことを発表する。

(3) これまでの学習を振り返り、1Lくらい入るものを身の回りから探す。

- ① 子供が予想しそうなものを用意し、実際に水を入れることが可能であれば入れて確かめてみる。
- ② 容器の形状が違ってても、1Lのかさになりうることを確認する。